



式 辞

始めに、今回の大地震で被災された方々に心よりお見舞いを申し上げますと共に、亡くなれた皆さまに深い哀悼の意を表します。そして一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて、美しい花の季節になりました。本日ここに第64回入学式を挙げるに当たり、多数の御来賓と保護者の皆様の御出席を賜り、心より感謝申し上げます。

只今、県立川口工業高等学校第一学年への入学を許可いたしました239名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは9年間の義務教育を終えて、今日から高校生としての新

しい生活が始まります。この高校生としての3年間は、自分の人生の基礎をかたちづくる大切な3年間です。実り豊かな3年間にしてください。高校は言うまでもなく学ぶ意志を持つ生徒が学びに来るところであって、自由に遊ぶところではありません。悔いのない高校生活をしっかり送って下さい。一度しかない大切な高校生活の出発点にあたり、皆さんに、京都大仙院尾関宗園住職の「今こそ出発点」と言う言葉の一部を紹介します。

人生とは毎日が訓練である
わたくし自身の訓練の場である
失敗もできる訓練の場である
「生きている」を喜ぶ訓練の場である
今この幸せを喜ぶこともなく
いつどこで幸せになれるか
この喜びをもとに全力で進めよう
わたくし自身の将来は
今この瞬間ここにある
今ここで頑張らずにいつ頑張る

毎日が出発点だと思って、その日一日に全力を尽くそう。という話です。

この言葉の中で、2点皆さんに伝えたいことがあります。

1点目は、冒頭で触れました大震災の現状を踏まえての話です。

東日本大震災の発生から約一ヶ月が過ぎました。いまだ、行方不明者が多くいる中、被災者の避難生活の厳しさはテレビを通してですが伝わってきます。また、原発事故で事態は一層深刻化しています。この複合型大災害に世界で初めて日本が襲われ、苦闘が続いています。

学びたくとも、それが許されない状況の生徒がたくさんいます。進学したくても、両親を失いあきらめなければならない生徒もいます。

このような中、皆さんは、ここに入学式を迎えられた喜び幸せ、学校に通える喜び幸せ、学べる喜び幸せを感じ取ってもらい。一時間一時間の授業を大事にしてもらいたいと思います。同時に、今、何をすべきか、一人ひとりが感じ、行動してもらいたいと思います。そして、「他人の痛みを、自分の痛みとして感じられる人間」に成長して下さい。

2点目は、「今ここで頑張らずにいつ頑張る」と言うことです。

私から、入学説明会の時、中学校と高校との違いを自分の言葉でまとめなさいという宿題を出しました。皆さんは、どの様に応えましたか。大きな違いは、自分自身が勉強しなければ、進級も卒業もできないという事です。私は、本校に入学してくる生徒の大半は、本当に勉強しないなと感じております。一生に一度くらい、「こんなに勉強したよ」という時が合ってもよいのではないのでしょうか。今日この時から、勉強の先送りはいししないでください。今ここで頑張らずにいつ頑張るのですか。「あの時やっておけば」では遅いのです。皆さんが意識をかえ、勉学に励み、二十一世紀のものづくりを担う人材として、地域、

産業界からの期待応えられる人材と成長する様願っております。

最後になりますが、保護者の皆様にお祝いとお願いを申し上げます。本日はお子さまの入学、誠におめでとうございます。またご多忙の中、御出席いただきありがとうございます。本日からお子様方は本校の生徒となりました。教職員一同全力を尽くして教育に当たる覚悟しております。お子さまの人間としての成長を願う気持ちは皆同じものです。そのためには家庭と学校との協力がなによりです。細やかな連携が何より子供の成長のために必要だと思います。今後一層の御理解と御協力を賜れば幸いです。

終わりに、本日入学いたしました生徒の皆さんが3年間実りある高校生活を送り、大きく成長して卒業できるよう祈念し、御出席頂きました皆さまに心から御礼のことばを申し上げます。

平成23年4月8日

埼玉県立川口工業高等学校長 岩崎利信